

# 評価規準

学校名：江戸川区立南葛西第三小学校

教科	特別活動	学年	第4学年
----	------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標（小単元のねらい）	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4年生になって	3	自分の考えを話したり、友だちの考えを聞いたりしながら、1学期に自分がやりたい係を決めることができる。	自分の考えを発表したり、友だちの考えと比較したりして話し合いを進めることができる。	話し合いの活動を通して、自分のやりたい係活動を決めることができる。	学級の係活動に関心を持ち、係活動を改善しようと考えている。
気持ちのよい日始めるために	1	自らが学級・学校集団の一員であることを自覚し、よりよい学校生活にするために自主的に協力しながら奉仕的活動に取り組むことができる。	友達の意見を聞きながら、係活動の意義について理解できる。	これまでの自分の活動に対し、様々な角度から振り返ることができる。	よりよい係活動になるように考えながら話し合おうとしている。
よりよいあいさつ	1	あいさつすることの良さに気付き、気持ちのよいあいさつを自らすすんでするようになるためのめあてを立て、実践しようとする。	学級生活を楽しくするための大切さ、そのための基本的な生活や学習の仕方などについて理解している。	学級生活を楽しくするために、日常生活や学習の課題について話し合い、自分に合ったよりよい解決方法などについて考え、判断し、実践している。	自己の身の回りの問題に関心を持ち、進んで日常生活や学習に取り組もうとしている。
自分や友達のよいところ	2	お互いに友だちをよく見つめ、心から友だちにささげる言葉をつづり、友情と連帯の人間関係を育てる。	人の長所を表現する様々な言葉について知り、自分の良さや他者の良さについて理解する。	自他のよさが相手によりよく伝わる表現・方法について考え、判断する。 友だちのいいところを的確に伝える表現を工夫し、心を込めて相手に伝えることができる。	お互いに友だちをよく見つめ、心から友だちにささげる言葉をつづり、友情と連帯の人間関係を育てようとする。

# 評価規準

学校名：江戸川区立南葛西第三小学校

物を大切にしよう	3	コミュニケーションを通して、相手が大切にしているものや、自分が大切にしているものを尊重しようとする態度を育てる。	望ましい人間関係のための考え方やスキル等について、実際の生活の中でどのように生かせるかを理解している。	望ましい人間関係について学んだ考え方やスキル等を、実際の場面で上手に活用したり、次の目標をもったりしている。	望ましい人間関係について学んだ考え方やスキル等を、実際の生活の中で生かそうとしたり、広げて考えようとしていたりしている。
進んで取り組む調べ学習	2	自主学習の意義や効果についての再確認をし、より効果的な自主学習について考えるとともに、意欲的に学習に取り組もうとすることができる。	効果的に自主学習を進めるために必要なことを学び、自分の力や目標に合わせていくことを理解している。	しっかりとした目標をもち、その実現に向けて何をすべきか考え、判断している。	自分の目標をしっかりともち、意欲的に自主学習に取り組み、自己を伸ばしていこうとしている。
交通事故ゼロ作戦	2	交通安全に関する諸機関や団体が行っている対策や活動を理解し、安全な交通社会を築くために、積極的に参加できるようにする。	自身の通学における課題を理解することができる。	交通事故の怖さや自動車の特性を知り、危険を予測し回避する方法について考える。	自主的に交通安全について考え、安全に生活するためにどのようにしたらよいのか考えようとしている。
地しんにそなえて	1	災害時に起こりうる様々な場面において、自分の考えをもち、判断し、異なる意見も取り入れながら適切な行動を考えようとするすることができる。	地震が発生した際の身の守り方や、津波からの避難の仕方を理解し、避難行動をとっている。	災害時に起こりうる様々な場面において、自分の考えをもち、異なる意見も参考にして適切な行動を考えることで、判断の重要性に気付き、家庭でも主体的に実践しようとしている。	自分や周囲の大人がどのように対応したか考えようとしている。
みんながえがおになる言葉	2	これまでの友達との言葉づかいについて振り返り、言葉づかいと心の関係について理解すると共に、自分も相手も大切にすることを通して、互いを尊重する心を育てる。	「自分も友達も大切にできる心」で友達への言葉かけをすることは、お互いの心を豊かにし、心と心をつなげることが分かる。	「自分も友達も大切にできる心」で、友達への言葉かけすることについて、友達の表現のよさと自分の課題に気付く。「自分も友達も大切にできる心」で、友達への言葉かけができる。	「自分も友達も大切にできる心」で、友達への言葉かけを、ふだんの生活の中で実践しようとする。
楽しくおいしい給食	1	給食のきまりを理解させ、協力して食事の準備や後片付けをしようとする気持ちを育てる。	楽しく豊かな学級や学校の生活をつくることの大切さ、そのための健全な生活や自主的学習の仕方などについて理解している。	楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために、日常生活や学習の課題について話し合い、自分に合ったよりよい解決方法などについて考え、判断し、実践している。	自己の生活の充実と向上に関わる問題に関心をもち、自主的に日常生活や学習に取り組もうとしている。

# 評価規準

学校名：江戸川区立南葛西第三小学校

どうして勉強するのか	1	夢を実現した人が、学生時代どんな気持ちで勉強していたのかを考える活動を通して、学ぶことの意義に気づくようにする。	学ぶことの意義に気付くことができたか。	学習への活動が生活を向上させる方法として見直すことができる。	集団とのかかわりをふまえ、学習への決意を新たにすることができる。
ピカピカそうじ大作戦	1	掃除をすることの意義を理解し、学級のために自分が掃除のできることを考える。	掃除の大切さについて考え、掃除道具の正しい使い方が分かる。	クラスのために自分にできる掃除を考えることができる。	働くことの意義や、人のために働くことの必要性について真剣に考えている。
5年生に向けて	4	5年生になることへの関心を高め、めあてや希望をもって生活しようとする態度を育てる。 なりたい5年生に向けて、今できることについて考え、意思決定することができる。	5年生に向けて充実した生活を実現することの大切さ、そのためによりよい生活や学習の仕方などについて理解している。	5年生に向けて充実した生活を実現するために、日常生活や学習の中でできることを話し合い、自分に合ったよりよい目標について考え、判断し、実現している。	5年生への進級に向けて関心をもち、意欲的に日常の生活や学習に取り組もうとしている。
食べ物の働きを知ろう	1	人間の体をつくる食品に興味をもち、食品の体への働きを正しく理解し、赤・黄・みどりの食品分けができる。	三色がそろっていることが「栄養バランスが良い」ということがわかったか。 食品にはそれぞれに働きがあるということがわかったか。	食品の体に対する働きが理解できたか。 自分の食べ方がバランス良い食べ方かどうか確認できたか。	食品の働きに興味をもち、三色に分けてみようという意欲をもったか。
見すぎ、やりすぎSOS!	3	インターネット上での個人情報の取り扱いについて知り、トラブルに巻き込まれないような知識の定着を図る。	インターネット上での個人情報の取り扱いについて理解することができる。	望ましく、正しい情報端末の利用をしようとしている。	自分自身のインターネットの利用について振り返る。

# 評価規準

学校名：江戸川区立南葛西第三小学校

<p>ていねいな歯磨き</p>	<p>2</p>	<p>歯磨きの大切さを知り、自分の健康を願う親の思いや自分のよさに気付き、丁寧に歯を磨こうとする意識を高める。</p>	<p>歯磨きが大切な理由や自分の健康を願う親の思いを理解している。</p>	<p>自分にあった、歯磨きで気を付けることを選び、カードにまとめ歯磨きをしている。</p>	<p>歯磨きに関心を持ち、歯を磨く大切さを考えようとしている。</p>
<p>火災から身を守るために</p>	<p>2</p>	<p>事故や災害時の安全に関することについて考え、生活に生かそうとしている。</p>	<p>話し合い活動から、安全や危険予測について理解している。</p>	<p>事故や災害時の安全に関することについて考え、対処方法を見付け、行おうとしている。</p>	<p>自己の身の回りの問題に関心を持ち、進んで日常の生活や学習に取り組もうとしている。</p>
<p>睡眠の大切さ</p>	<p>2</p>	<p>睡眠の大切さについて理解し、すすんで日頃の生活を見直そうとする。</p>	<p>心身の健康を高める生活の仕方を理解するとともに、日常生活を安全に保つために必要な事柄を理解している。</p>	<p>日常生活における自分の健康の問題を見つけ、健康維持促進に必要な事柄を考えて実践するとともに、日常生活を安全に保つためにきまりを守って行動している。</p>	<p>自分の健康について関心を持ち日常生活における健康の問題を見付けようとするとともに、日常生活を安全に過ごすようとしている。</p>
<p>自分たちの学習や生活を振り返る</p>	<p>1</p>	<p>一人一人が学習に前向きな努力をすることが、集団生活の向上させる方法の一つであることを理解し、自らの日常を見直すことができる。</p>	<p>学習に取り組む仲間の決意や工夫を理解し、自らの学習への決意をまとめることができる。</p>	<p>学習への活動が生活を向上させる方法として見直すことができる。</p>	<p>集団とのかかわりをふまえ、学習への決意を新たにすることができる。</p>